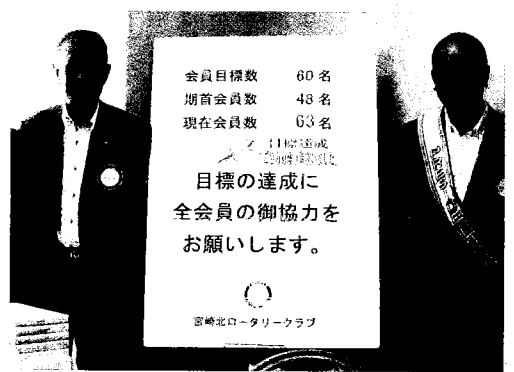


会員増強・ 純増一五人の達成

宮崎北ロータリークラブ
第二七三〇地区 宮崎県

クラブでは前年度二〇人の新会員を獲得し、純増一五人を達成。地区内ダントツ一位で国際ロータリー(RI)会長表彰の申請をしました。達成の最大の要因は「目標が大きかった」ことです。クラブは前年度七月一日時点の会員数が、ここ二〇年で初めて五〇人を割り、四八人でスタート。危機感を募らせた齊藤幹生会長(当時)は「絶対に年度末会員数を六〇人にする」と強く決意し、会員増強委員会に要請しました。委員会はこれに応えるべく討議を重ね、施策を講じました。

そして、いかに全員のムードを盛



例会で、会員増強の状況をパネル表示

り上げるか、に力を注ぎました。さらに①毎月の理事会の最初の議題を「会員増強」とする。②すべての委員会委員長は会員増強の委員になる。③会員増強状況のパネル表示を行い、情報を共有する。④六人入会ごとに歓迎会を開き、新会員と推薦者に記念品を贈る。⑤退会防止のため、例会運営を魅力的なものにする。会長はこの方針に沿って「豊かな心、和気あいあい」をテーマに魅力的な例会運営を行いました。

結果、転勤などやむを得ない理由以外の退会者は一人。ムードが盛り上がり、楽しく、しかし厳密な審査基準は守った上での純増となり、期末会員は六三人。口蹄疫や鳥インフルエンザに加え、新燃岳の噴火に見舞われ、経済が低迷する中で入会し

た会員は、いずれも堅実な経営をしている優秀な人ばかり。質の高い会員を獲得できたことは、思いがけない成果でした。このムードは今後も継続されると感じています。

(原田貴太郎・記)